

情報セキュリティ監査

- NPO法人日本システム監査人協会監修の「実践マニュアル(チェックリスト)」を使用して、第三者機関がシステム監査を行い、監査報告書を作成します。
- 監査は2年目以降、2年毎に実施します。

社内体制整備

情報セキュリティポリシーの作成

- セキュリティポリシーとは、企業の「情報資産」を守るための情報セキュリティ対策を具体的にまとめた社内ルールのことです。初年度に現状・ご要望を確認したうえで、最適な「情報セキュリティ方針」を作成します。
- また、個人情報保護法改正に適合した「個人情報保護方針」を新規作成、もしくは既存の方針の見直しを行います。

保有重要情報の特定・見直し

- 保有重要情報を「個人情報」+「自社独自の技術情報」と定義し、契約初年度に重要情報の洗い出しを行い、「重要情報保護台帳」を作成します。
- 2年目以降は随時、「重要情報保護台帳」の見直しを行います。

リスク分析の実施

- 2年目以降、上記で洗い出した重要情報に関して、漏えいを防ぐために、各場面(例えば、入手、利用、廃棄など)に応じた具体的な対策と、優先順位を記載した「リスク分析評価表」を作成します。

情報セキュリティ対策について、様々な課題にお応えできる体制メニューを整えております。

以下の内容につきまして、何なりとご相談ください。

百五コンピュータソフト株式会社(HCS)と連携してサポートします。

ただし、内容により別途費用が必要になる場合があります。

- 安全管理規程の作成及び見直し
- セキュリティにおける組織、体制の相談
- マイナンバー制度の相談
- 個人情報保護法の相談
- 教育訓練の実施(幹部、従業員向けの研修会などの開催)
- プライバシーマーク認証取得支援
- システム導入・更改時のアドバイス
- その他の個別業務システムのセキュリティ診断
- セキュリティ関連ソフト導入のご相談

情報セキュリティ会員 年会費 20万円(税別)

なお、百五経営情報クラブの特別会員へのご入会をお願いします。【年会費:三重県内4万円、三重県外3万円(税別)】

情報セキュリティ 会員のご案内

ある日突然、データベースに格納された機密情報や個人情報が外部に流出したり、サービスを不正に利用される世の中になりました。

万が一、そうなれば、企業の継続に関わる重大な問題に発展する可能性があります。

情報セキュリティ対策は専門家におまかせください。

● お申込み・お問い合わせは、百五銀行本支店もしくは百五総合研究所までお願いします。

HRI 株式会社 百五総合研究所 〒514-8666 三重県津市岩田21番27号

《TEL》059(228)9105 《FAX》059(228)9380

《URL》<http://www.hri105.co.jp/>



HRI 株式会社 百五総合研究所

情報セキュリティコンサル

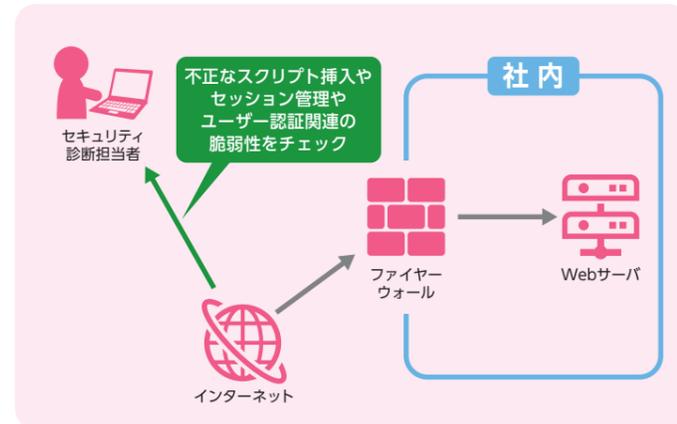
メニュー(年会費に含まれるサービス)は以下の通りです。

情報セキュリティコンサル				
基本メニュー	初年度	2年目	3年目	4年目
【診断】				
ホームページ診断	◎	○*	◎	○*
社内ネットワーク診断	◎	○*	◎	○*
問診による現状診断(80項目)	◎		◎	
情報セキュリティ監査		◎		◎
【社内体制整備】				
情報セキュリティポリシーの作成	◎			
保有重要情報の特定・見直し	◎			
リスク分析の実施		◎	◎	◎

注1 * : ◎については、ホームページ、社内ネットワークに、リニューアルや変更があった場合に、ご要望に応じて実施します。
注2 5年目以降も、各サービスを実施します。

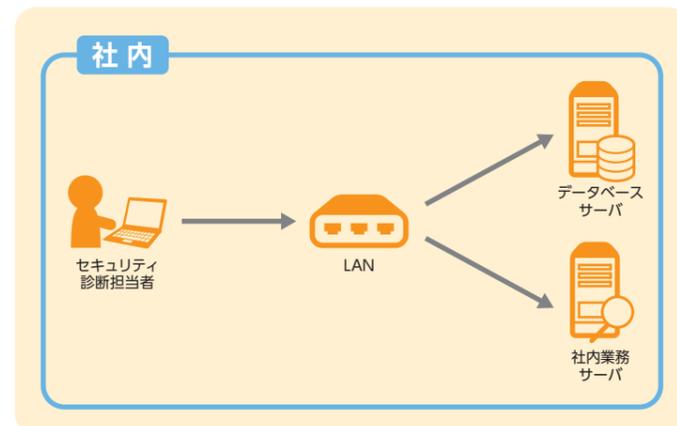
診断

ホームページ診断



- ホームページへの外部からの攻撃に対して、対策を施すことができれば、被害の発生を未然に防ぐことができます。
- 攻撃者の視点から様々な疑似攻撃を考察・試行することでホームページの安全性を調査し、その診断結果をご報告します。
- 企業に訪問することなく、インターネット経由により診断を実施します。
- まず、初年度に実施し、その後は2年毎をベースとしますが、ホームページのリニューアルや変更があった場合は、ご要望に応じて、診断を実施します。

社内ネットワーク診断



- 社内ネットワークについて、適切な対策ができていれば、脆弱性を突いた攻撃による侵入、改ざん、情報漏えいなどの発生を未然に防ぐことができます。
- 診断対象となるサーバやネットワーク機器に対して、不正アクセスの観点から、侵入手法を考察・試行し、安全性を調査し、その診断結果をご報告します。
- ホームページ診断と同様に、まず初年度に実施し、その後は2年毎をベースとしますが、社内ネットワークに変更があった場合は、ご要望に応じて、診断を実施します。
- 診断では各企業内で、診断用PCを接続させていただきます。基本的に1つの拠点(本社など)での診断となり、2拠点以上の事業所での診断は別料金になります。

問診による現状診断(80項目)

- 80項目の選択式設問に回答していただく形式で、情報セキュリティ対策の現状を把握し、診断レポートを作成します。
- 現時点の対策で、社内にどんな課題があるのか、また、診断結果から浮き彫りになった各課題に対する緊急度を視覚的に確認いただけます。
- 質問フォームは、そのまま情報セキュリティ対策の参考資料として利用いただけます。
- 本診断を同様に受けておられる他社の最高点、最低点、平均値との比較の中で、自社のレベルを把握し、どこまで対策を講じるべきかの、判断材料に活用いただけます。
- 問診は初年度にまず行っていただき、その後は2年毎に実施します。

● 現状診断結果のイメージ

(1) ネットワーク利用のための安全管理

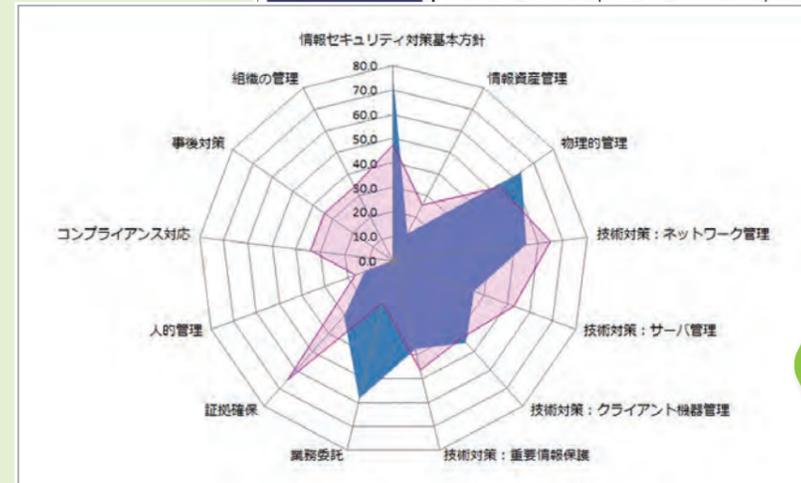
■ 不備がある場合のリスクの例 ■
情報機器にファイル共有ソフトがインストールされると、意図せず機器内の重要情報が外部に漏えいしてしまう恐れがあります。ファイル共有ソフトで取得した外部のファイルを実行することでマルウェア感染を起し、組織内の他の情報機器に感染を拡大してしまふ恐れがあります。SNS 及び外部のオンラインストレージの利用並びに指示版の書き込みが許可されていると、重要情報がアップロードされたり、書き込まれたりして漏えいする恐れがあります。無許可の無線LANやアクセスポイントの利用ができてしまうと、情報機器を直接インターネット環境に接続し、情報を漏えいさせる恐れがあります。プロキシを使用しない、認証情報が残るといった環境では、外部からの不正アクセスにより重要情報が漏えいする恐れがあります。不審なアクセスを監視しない場合、情報漏えいに気づかない可能性があります。

21	ウイルス対策ソフトの導入やパッチ適用等のセキュリティ対策を実施していないプロキシ、ネットワーク機器、サーバ、クライアント機器等のネットワークへの接続を制限していますか	3	JP1
22	メーカーからウイルス対策ソフトの定義ファイルが緊急に公開された際に、従業員が即時定義ファイルを適用できるように手順を周知する、またはツールにより自動アップデートすることを実施していますか	4	JP1
23	Web アクセスは、コンテンツフィルタを導入して、SNS、アップローダー、掲示板等へのアクセスを制限していますか	4	秘文
24	電子メールは、外部宛のメール送信を確認する機能や上司に承認を要求する機能、添付ファイル等が暗号化されていないと送信できない機能を持ったメールシステムを導入していますか	4	秘文
25	SPAM メールが従業員まで配信されないように、メールシステムで防御していますか	4	秘文
26	社内では無許可の無線LANを利用したネットワークの接続(個人所有のスマートフォンでのデザリング等)を禁止していますか	2	秘文
27	社外から社内ネットワークに接続する場合、承認されたアクセスポイントのみを経由するようにしていますか	2	秘文
28	プロキシを経由しないインターネットアクセスを禁止していますか		
29	サーバやネットワーク機器のメンテナンスで使用する		

対策別評価と
リスク解説

対策状況が一目で
わかるカテゴリ別
診断結果

情報セキュリティ基本方針			
リスクアセスメント	情報セキュリティ規程	体制&組織	意識&計画
秘密保持契約	罰則規程	事後対応	コンプライアンス
情報セキュリティ教育/情報セキュリティ啓蒙			
ID管理(統合ID管理、ID離断)	ログ管理(統合ログ管理、ログのレポーティング)	業務委託管理	
IT資産管理(IT資産管理、インベントリ情報収集、セキュリティチェック、リモート配布、リモート操作)			
情報漏えい対策	内部	外部	外部
制限	防止効果	監視	防止効果
建物	入退室管理	セキュリティ区画の定義	監視
ネットワーク/ゲートウェイ	ネットワーク接続確認 不正接続検知・遮断 ファイアウォール Web制御 メール制御 経路制限(ルータ管理) 保守記録管理	セキュリティ区画の定義 監視カメラ 入退室記録 ネットワーク機器接続確認 ネットワーク機器接続記録 インターネット利用記録 メール送受信記録	入退室管理 セキュリティ区画の定義 ファイアウォール 不正な入退室/メール/ウェブ接続 経路制限(ルータ管理) 通信暗号化 社内標準セキュリティソフト SPAMフィルタリング
サーバ	サーバ個人認証 データベース特種ID管理 サーバ特種ID管理 サーバアクセス制御 特種ID管理(ルータ管理) ソフトウェア導入制限	データベース暗号化 データベース特種ID管理 ファイアウォール ウイルス対策 脆弱性診断 返却手順 社内標準セキュリティソフト	データベース特種ID管理 データベース暗号化 サーバ特種ID管理 ファイアウォール暗号化 サーバアクセス制御 セキュリティパッチの適用 社内標準セキュリティソフト 設定制限 セキュリティパッチの適用 社内標準セキュリティソフト



自社と他社との
対策状況の違いも
視覚的に確認